

三好大助

まなざし

まぶたを下ろし
静かな呼吸で

心の曇りを 晴らしていく

雲間から 金色の陽ざしが
差しこむように

何者かのまなざしが
胸の奥まで 貫いて
眠っていた地層を あたためる

そのぬくもりで芽吹くのは
見えない種子

花ひらくのは
色あざやかな
内なる瞳